

◆ 交際から性関係までの理想の期間（表 38）

交際をはじめてから性関係までの期間で理想と考える期間を尋ねた（表 38）。高1女子を除き、全学年男女とも「3ヶ月」と回答した者の割合が最も多く、男子 21%、23%、25%、女子 19%（但し高1女子は「6ヶ月」が最高で20%）、24%、28%で2～3割であった。それに対し、「結婚するまで待つ」という回答は、学年順に男子 8%、7%、8%、女子 10%、9%、6%と学年とともにやや減少傾向が見られたが約1割程度は存在した。

表 38. 交際してから性関係を持つまでには、どのくらいが理想的ですか？

		男子	%	女子	%
1年生	結婚するまではだめ	120	7.5	168	9.7
	3年間以上	46	2.9	67	3.9
	2年間	75	4.7	95	5.5
	1年間	301	18.9	321	18.6
	6ヶ月	265	16.6	341	19.7
	3ヶ月	336	21.1	333	19.3
	1ヶ月	258	16.2	210	12.2
	2週間	65	4.1	55	3.2
	1週間以内	36	2.3	17	1.0
	不明	93	5.8	120	6.9
		合計	1595	100.0	1727
2年生	結婚するまではだめ	107	7.2	151	8.5
	3年間以上	33	2.2	44	2.5
	2年間	39	2.6	63	3.5
	1年間	218	14.8	303	17.0
	6ヶ月	289	19.6	353	19.9
	3ヶ月	344	23.3	432	24.3
	1ヶ月	254	17.2	277	15.6
	2週間	68	4.6	53	3.0
	1週間以内	45	3.0	21	1.2
	不明	79	5.4	81	4.6
		合計	1476	100.0	1778
3年生	結婚するまではだめ	110	7.8	98	6.2
	3年間以上	29	2.1	16	1.0
	2年間	31	2.2	30	1.9
	1年間	180	12.8	227	14.4
	6ヶ月	214	15.2	317	20.1
	3ヶ月	349	24.7	437	27.7
	1ヶ月	292	20.7	291	18.4
	2週間	71	5.0	56	3.5
	1週間以内	66	4.7	34	2.2
	不明	69	4.9	74	4.7
		合計	1411	100.0	1580

(9) 性の問題に対するリスク認知 (表 39、表 40)

性経験の有無にかかわらず全員に「将来、自分が性病（一般の性感染症）にかかる可能性があるか」(表 39)「将来、自分が HIV に感染する可能性があるか」(表 40)を尋ねた。まず、「性病にかかる可能性」では、男女とも“ありそうだと思う”が最も多く、学年順に男子 33%、36%、37%、女子 38%、41%、41%であった。「HIV に感染する可能性」では、最も多かったのは、男女とも“あまりないと思う”男子 37%、38%、40%、女子 34%、35%、37%であった。次に、“まったくないと思う”=1点、“あまりないと思う”=2点、“ありそうだと思う”=3点、“かなりあると思う”=4点としてリスク認知をスコア化すると、「一般の性感染症」では、学年順に男子 1.9、1.9、2.0、女子 2.0、2.1、2.2 とリスク認知は学年とともに上昇し女子の方が高い傾向にあった。「HIV 感染」は男子 1.7、1.7、1.7 で女子 1.8、1.8、1.9 で学年で少し上昇傾向があり性感染症同様女子のリスク認知が高い傾向が観察された。「一般の性感染症」「HIV 感染」という 2 つのリスクの中では、男女とも HIV より一般の性感染症の方が、リスク認知が高かった ($P<0.001$)。性感染症、エイズいずれにおいても、リスク認知 (ありそうだ+かなりある) は女性の方が男性より大きかった ($P<0.001$)。

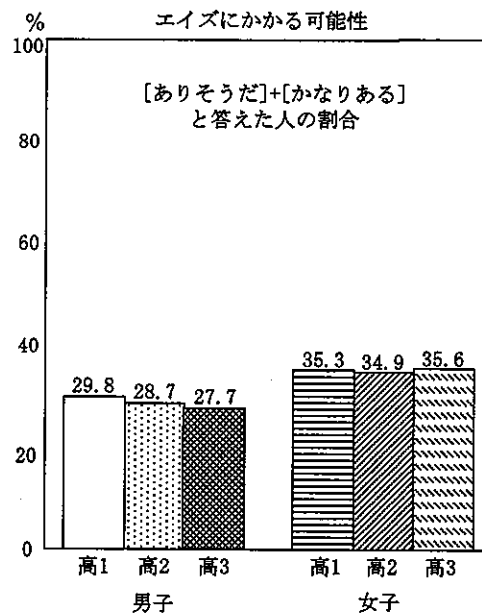
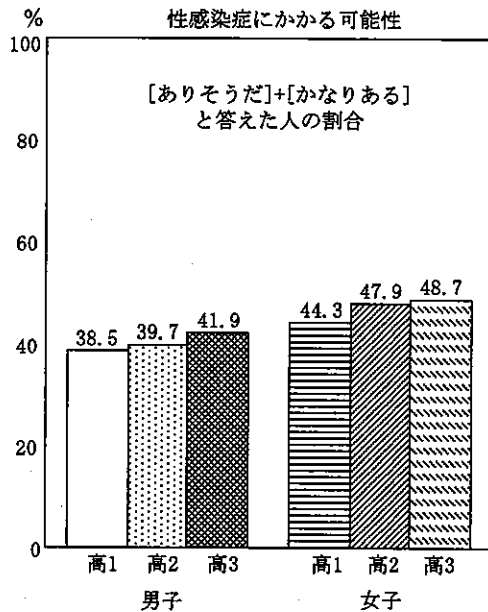
表 39. 将来、自分が性病にかかる可能性はどのぐらいあると思いますか？

		男子	%	女子	%
1 年生	まったくないと思う	80	5.0	45	2.6
	あまりないと思う	524	32.9	498	28.8
	ありそうだと思う	532	33.4	661	38.3
	かなりあると思う	82	5.1	103	6.0
	わからない	357	22.4	398	23.0
	不明	20	1.3	22	1.3
	合計	1595	100.0	1727	100.0
2 年生	まったくないと思う	85	5.8	70	3.9
	あまりないと思う	464	31.4	487	27.4
	ありそうだと思う	526	35.6	734	41.3
	かなりあると思う	60	4.1	118	6.6
	わからない	324	22.0	348	19.6
	不明	17	1.2	21	1.2
	合計	1476	100.0	1778	100.0
3 年生	まったくないと思う	78	5.5	56	3.5
	あまりないと思う	448	31.8	464	29.4
	ありそうだと思う	520	36.9	649	41.1
	かなりあると思う	70	5.0	120	7.6
	わからない	273	19.3	272	17.2
	不明	22	1.6	19	1.2
	合計	1411	100.0	1580	100.0

表 40. 将来、自分がエイズにかかる可能性はどのぐらいあると思いますか？

		男子	%	女子	%
1年生	まったくないと思う	122	7.6	66	3.8
	あまりないと思う	586	36.7	583	33.8
	ありそうだと思う	423	26.5	540	31.3
	かなりあると思う	52	3.3	69	4.0
	わからない	394	24.7	447	25.9
	不明	18	1.1	22	1.3
	合計	1595	100.0	1727	100.0
2年生	まったくないと思う	122	8.3	112	6.3
	あまりないと思う	566	38.3	616	34.6
	ありそうだと思う	379	25.7	545	30.7
	かなりあると思う	44	3.0	75	4.2
	わからない	347	23.5	409	23.0
	不明	18	1.2	21	1.2
	合計	1476	100.0	1778	100.0
3年生	まったくないと思う	131	9.3	89	5.6
	あまりないと思う	566	40.1	577	36.5
	ありそうだと思う	358	25.4	494	31.3
	かなりあると思う	33	2.3	68	4.3
	わからない	300	21.3	333	21.1
	不明	23	1.6	19	1.2
	合計	1411	100.0	1580	100.0

性感染症・HIVに感染する可能性の自覚



(10) 現在、性に関して知りたいこと(表 41)

現在、高校生が性に関して知りたいことを表 41 に示す。上位 4 項目は、学年順に男子では、「コンドーム使用方法」(35%、29%、30%)、「性交」(34%、36%、35%)、「性病のこと」(30%、27%、36%)、「エイズのこと」(27%、26%、32%) であった。女子では「性病やエイズの予防方法」(30%、30%、31%)、「避妊法」(30%、28%、26%)、「性病のこと」(29%、33%、36%)、「ピルについて」(39%、27%、32%) であった。

表 41. 性に関してあなたが現在知りたいことはなんですか？(複数回答)

		男子	%	女子	%
1 年生	セックス	357	34.3	258	21.6
	妊娠・出産	136	13.1	280	23.5
	中絶のこと	186	17.9	295	24.7
	避妊のしかた	243	23.3	354	29.6
	性病のこと	311	29.9	345	28.9
	エイズのこと	282	27.1	305	25.5
	性病やエイズの予防方法	293	28.1	363	30.4
	男性用コンドームの正しい使い方	362	34.8	196	16.4
	ピルについて	237	22.8	462	38.7
	同性愛のこと	135	13.0	208	17.4
	その他	165	15.9	97	8.1
	合計	1041	100.0	1194	100.0
2 年生	セックス	322	36.2	267	22.1
	妊娠・出産	135	15.2	275	22.8
	中絶のこと	142	16.0	242	20.1
	避妊のしかた	199	22.4	339	28.1
	性病のこと	241	27.1	393	32.6
	エイズのこと	227	25.5	331	27.4
	性病やエイズの予防方法	239	26.9	358	29.7
	男性用コンドームの正しい使い方	260	29.2	167	13.8
	ピルについて	160	18.0	326	27.0
	同性愛のこと	135	15.2	255	21.1
	その他	150	16.9	108	9.0
	合計	890	100.0	1206	100.0
3 年生	セックス	282	34.6	202	19.2
	妊娠・出産	148	18.1	269	25.6
	中絶のこと	148	18.1	223	21.2
	避妊のしかた	196	24.0	275	26.2
	性病のこと	292	35.8	380	36.2
	エイズのこと	258	31.6	299	28.4
	性病やエイズの予防方法	247	30.3	323	30.7
	男性用コンドームの正しい使い方	228	27.9	151	14.4
	ピルについて	166	20.3	332	31.6
	同性愛のこと	132	16.2	226	21.5
	その他	116	14.2	100	9.5
	合計	816	100.0	1051	100.0

(11) 予防教育の教え方に関する要望 (表 42)

表 42 に性教育/予防教育の際の教え方に対する要望を示した。多かったものから並べると、「危ないことは危ないと教えて欲しい」と考えている人が男子 (1年 70%、2年 70%、3年 71%)、女子 (1年 79%、2年 80%、3年 80%) と学年にかかわらず約 7~8 割が希望し、女子の要望が高かった (男女差 $P < 0.001$)。次は「異性の考え方が知りたい」で男子 (1年 61%、2年 67%、3年 68%)、女子 (1年 66%、2年 70%、3年 75%) と 6~7 割が希望していた。その他半数以上の生徒が希望していたものは「ピルについて教えて欲しい」が女子 (1年 58%、2年 60%、3年 62%) 女子のみ要望が高かった。「専門家の話が聞きたい」も女子のみ (2年生 51%、3年 58%) 「妊娠や性病など質問のあるとき、相談できる連絡先を教えて欲しい」も高3女子のみ 56% 希望していた。男女別の教育に関しては、女子の側から男子より約 10% ほど高い要望があった。全般的に予防教育に対する女子生徒からのニーズが高まっていることが示唆された (いずれも男女差 $P < 0.001$)。

表 42. 教え方に対する要望

	1 年生		2 年生		3 年生	
	男子% n=1595	女子% n=1727	男子% n=1476	女子% n=1778	男子% n=1411	女子% n=1580
男子と女子は別々に教えてほしい	36.2	46.9	32.5	39.4	30.7	41.3
異性の考え方が知りたい	60.7	66.3	66.5	70.2	67.8	75.2
コンドームの正しい使い方を教えてほしい	44.8	42.4	46.4	46.4	45.1	48.2
ピルについて教えてほしい	36.2	57.8	37.2	60.1	41.5	62.4
危ないことは、危ないと教えてほしい	70.3	78.9	69.7	79.6	71.4	79.9
専門家の話が聞きたい	42.6	42.6	43.4	50.6	51.0	57.5
自分の住んでいる地域のことなど、身近に感じられることを教えてほしい	34.7	38.0	40.6	44.4	44.4	47.5
妊娠や性病などの質問がある時、相談できる連絡先を教えてほしい	31.3	41.1	34.8	47.0	42.9	55.9
なんどもくり返し教えてほしい	16.2	17.3	18.5	18.3	22.0	23.0
少ない人数で教えてほしい	19.3	26.1	18.0	23.8	23.5	28.2

B. 性意識、性経験、コンドーム使用に関連する要因に関する分析

(1) 性意識に関連する要因の2変量解析 (表 43、表 44)

表 43 に高校生の男子の性関係容認意識 (注: 高校生のセックスは「かまわない」+「どちらかと言えばかまわない」) に関連する要因を示した。強い関連 (粗オッズ比 ≥ 2) を示した要因は、携帯電話の所持、喫煙経験、飲酒経験、出会い系サイト利用経験があること、小学生で性情報の曝露あることで、その中で喫煙と援助交際は特に強い関連 (粗オッズ比 6-7) を示した。その他、高学年であること、泣きたいほどつらい気持ちの経験があること、STD 感染リスク認知が全くないことも有意の関連を示したが、家族との日常会話と援助交際の経験があることは有意の関連を示さなかった。表 44 に高校生の女子の性関係容認意識に有意に関連する要因を示した。家族との日常会話が少ないこと・ないこと、泣きたいほどつらい気持ちの経験があること、携帯電話の所持、喫煙経験、飲酒経験、出会い系サイト利用経験があること、援助交際の経験があること、小学生で性情報曝露のあること、STD のリスク認知が強い関連を示し、その中で喫煙と援助交際は特に強い関連 (粗オッズ比=9-10) を示し、飲酒は極めて強い関連 (粗オッズ比=12.0) を示した。女子では、それ以外に、高学年であることも有意な関連を示した。

表. 43 高校生の性関係容認意識と関連する因子 (男子)

		人数	容認者数	%	粗オッズ比	95%CI	P値
全体		4337	2963	68.3			
学年	1年生	1555	1016	65.3	1.00		
	2年生	1428	966	67.6	1.11	0.95-1.29	0.182
	3年生	1354	981	72.5	1.40	1.19-1.64	0.000
家族との日常会話頻度	よく/わりとする	3058	2067	67.6	1.00		
	たまにする	998	690	69.1	1.07	0.92-1.25	0.364
	ほとんど/全くなし	273	198	72.5	1.27	0.96-1.67	0.095
泣きたいほどつらい気持ち	一度もない	743	465	62.6	1.00		
	たまに/ときどきある	2815	1951	69.3	1.35	1.14-1.60	0.000
	よくある	752	529	70.3	1.42	1.14-1.76	0.002
携帯電話所持	なし	401	178	44.4	1.00		
	あり	3933	2783	70.8	3.03	2.46-3.74	0.000
喫煙経験	なし	2755	1664	60.4	1.00		
	以前有り、現在なし	936	731	78.1	2.34	1.97-2.78	0.000
	たまに吸う	222	183	82.4	3.08	2.16-4.38	0.000
	よく吸う (毎日)	404	368	91.1	6.70	4.72-9.52	0.000
飲酒経験	なし	972	466	47.9	1.00		
	以前あり、現在なし	1343	846	63.0	1.85	1.56-2.19	0.000
	たまに飲む	1778	1443	81.2	4.68	3.93-5.56	0.000
	よく飲む (毎週)	231	199	86.1	6.75	4.55-10.01	0.000
出会い系サイト利用	なし	4115	2768	67.3	1.00		
	あり	221	194	87.8	3.50	2.33-5.26	0.000
援助交際	なし	4323	2951	68.3	1.00		
	あり	13	11	84.6	2.56	0.57-11.55	0.206
小学生での性情報曝露	なし	2173	1197	55.1	1.00		
	あり	2164	1766	81.6	3.62	3.15-4.15	0.000
自分のSTD感染リスク認知	あり	4073	2767	67.9	1.00		
	まったくなし	240	183	76.3	1.52	1.12-2.06	0.007

表. 44 高校生の性関係容認意識と関連する因子 (女子)

		人数	容認者数	%	crudeOR	95%CI	P値
全体		4919	2920	59.4			
学年	1年生	1664	862	51.8	1.00		
	2年生	1721	1040	60.4	1.42	1.24-1.63	0.000
	3年生	1534	1018	66.4	1.84	1.59-2.12	0.000
家族との 日常会話頻度	よく/わりとする	4241	2452	57.8	1.00		
	たまにする	531	358	67.4	1.51	1.25-1.83	0.000
	ほとんど/全くなし	142	106	74.6	2.15	1.47-3.15	0.000
泣きたいほどつらい気持ち	一度もない	196	91	46.4	1.00		
	たまに/ときどきある	3155	1834	58.1	1.60	1.20-2.14	0.001
	よくある	1554	988	63.6	2.01	1.49-2.72	0.000
携帯電話所持	なし	188	57	30.3	1.00		
	あり	4728	2861	60.5	3.52	2.57-4.83	0.000
喫煙経験	なし	3733	1935	51.8	1.00		
	以前有り、現在なし	769	614	79.8	3.68	3.05-4.44	0.000
	たまに吸う	194	171	88.1	6.91	4.45-10.73	0.000
	よく吸う(毎日)	205	186	90.7	9.10	5.65-14.65	0.000
飲酒経験	なし	1100	394	35.8	1.00		
	以前あり、現在なし	1547	814	52.6	1.99	1.70-2.33	0.000
	たまに飲む	2115	1580	74.7	5.29	4.52-6.20	0.000
	よく飲む(毎週)	138	120	87.0	11.95	7.17-19.90	0.000
出会い系サイト利用	なし	4489	2564	57.1	1.00		
	あり	432	357	82.6	3.57	2.77-4.62	0.000
援助交際	なし	4848	2853	58.8	1.00		
	あり	73	68	93.2	9.51	3.83-23.63	0.000
小学生での性情報曝露	なし	3181	1655	52.0	1.00		
	あり	1740	1266	72.8	2.46	2.17-2.80	0.000
自分のSTD感染リスク認知	あり	4729	2780	58.8	1.00		
	まったくなし	167	128	76.6	2.30	1.60-3.31	0.000

(2) 性意識に関連する要因の多変量解析 (表 45, 表 46)

表 43,44 の項目のうち、援助交際を除く項目で、多重ロジスティック回帰分析を行なった結果を表 45、表 46 に示した。学年も調整変数として投入したが、表からは省いた。男性では、携帯電話の所持、喫煙経験、飲酒経験、小学生で性情報曝露のあることが強い関連（調整オッズ比 ≥ 2 ）を示し、泣きたいほどつらい気持ちの経験があること、STD 感染リスク認知が全くないことも有意に関連したが、家族との日常会話と出会い系サイトの利用は有意にならなかった。女子では、携帯電話の所持、喫煙経験、飲酒経験が強い関連（調整オッズ比 ≥ 2 ）を示し、家族との日常会話が少ないこと・ないこと、出会い系サイトの利用、小学生で性情報の曝露あること、STD 感染リスク認知が有意に関連し、泣きたいほどつらい気持ちの経験があることは有意にならなかった。全体に、オッズ比は 2 変量解析の場合よりも低下したが、特に、喫煙、飲酒の項目の低下が大きかった

表 45. 高校生の性関係の容認意識と関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (男子)

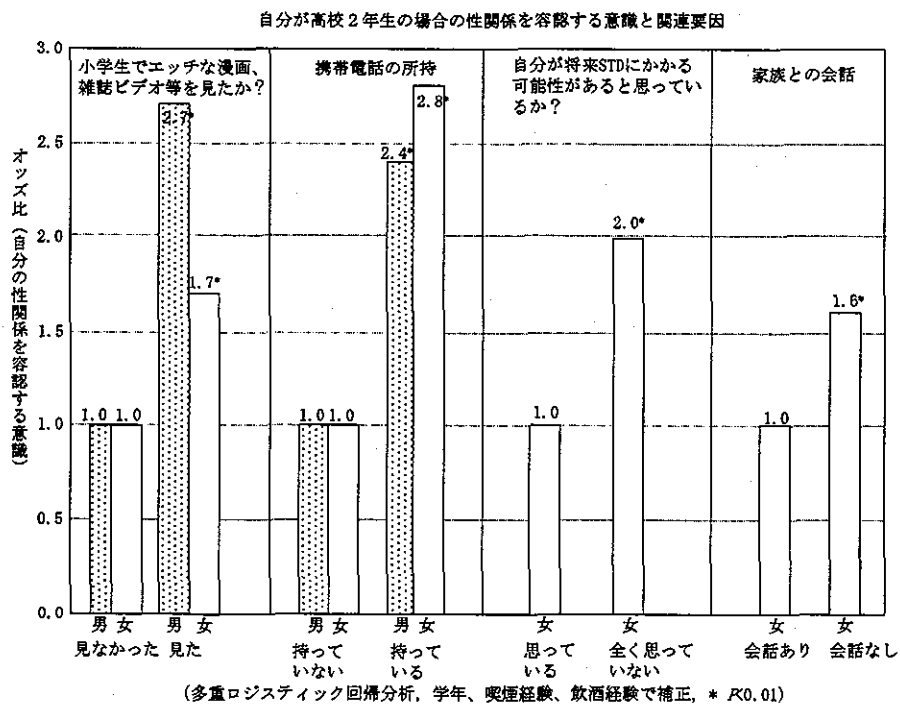
変数		adjusted OR	95%CI	P値
家族との日常会話頻度	よく/わりとする	1.00		
	たまにする	1.11	0.94-1.32	0.204
	ほとんど/まったくなし	1.14	0.84-1.54	0.411
泣きたいほどつらい気持ち	一度もなし	1.00		
	たまに/時々ある	1.25	1.03-1.50	0.021
	よくある	1.08	0.85-1.37	0.531
携帯電話所持	なし	1.00		
	あり	2.35	1.87-2.96	0.000
喫煙経験	なし	1.00		
	以前有り、現在なし	1.45	1.20-1.76	0.000
	たまに吸う	1.42	0.97-2.07	0.069
	よく吸う (毎日)	2.74	1.87-4.02	0.000
飲酒経験	なし	1.00		
	以前あり、現在なし	1.41	1.17-1.69	0.000
	たまに飲む	2.68	2.20-3.25	0.000
	よく飲む (毎週)	2.32	1.49-3.61	0.000
出会い系サイト利用	経験なし	1.00		
	経験有り	1.43	0.92-2.22	0.115
小学生での性情報曝露	なし	1.00		
	あり	2.74	2.36-3.18	0.000
自分の STD 感染リスク認知	リスク認知あり	1.00		
	まったくなし	1.39	1.00-1.94	0.053

* 学年で調整

表 46. 高校生の性関係の容認意識と関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (女子)

変数		adjusted OR	95%CI	P値
家族との日常会話頻度	よく/わりとする	1.00		
	たまにする	1.35	1.09-1.66	0.006
	ほとんど/まったくなし	1.55	1.01-2.37	0.045
泣きたいほどつらい気持ち	一度もなし	1.00		
	たまに/時々ある	1.32	0.96-1.81	0.089
	よくある	1.25	0.90-1.74	0.184
携帯電話所持	なし	1.00		
	あり	2.81	1.98-3.98	0.000
喫煙経験	なし	1.00		
	以前有り、現在なし	2.15	1.76-2.63	0.000
	たまに吸う	3.22	2.02-5.14	0.000
	よく吸う (毎日)	3.23	1.95-5.34	0.000
飲酒経験	なし	1.00		
	以前あり、現在なし	1.61	1.37-1.91	0.000
	たまに飲む	3.28	2.76-3.89	0.000
	よく飲む (毎週)	4.12	2.32-7.32	0.000
出会い系サイト利用	経験なし	1.00		
	経験あり	1.76	1.33-2.33	0.000
小学生での性情報曝露	なし	1.00		
	あり	1.71	1.48-1.96	0.000
自分のSTD感染リスク認知	リスク認知あり	1.00		
	まったくなし	1.98	1.33-2.93	0.001

*学年で調整



(3) 性経験に関連する要因の2変量解析 (表 47、表 48)

表 47 に高校生の男子の性経験に関連する要因を示した。強い関連を示した要因 (粗オッズ比 ≥ 2) は、高学年であること、携帯電話の所持、喫煙経験、飲酒経験、出会い系サイト利用経験があること、小学生で性情報曝露のあることで、その中で携帯電話の所持と出会い系サイト利用経験は特に強い関連 (粗オッズ比=5.6) を示し、喫煙と飲酒は極めて強い関連 (粗オッズ比=11~16) を示した。その他、泣きたいほどつらい気持ちの経験があること、STD 感染リスク認知が全くないことも有意の関連を示したが、家族との日常会話との関連は有意にならなかった。表 48 に高校生の女子の性経験に有意に関連する要因を示した。高学年であること、家族との日常会話が少ないこと・ないこと、泣きたいほどつらい気持ちの経験があること、携帯電話の所持、喫煙経験、飲酒経験、出会い系サイト利用経験があること、小学生で性情報曝露のあることが強い関連を示し、その中で出会い系サイト利用は特に強い関連 (粗オッズ比=5.4)、喫煙と飲酒は極めて強い関連 (粗オッズ比 18~21) を示した。女子では、それ以外にも、STD 感染リスク認知も有意の関連を示した。

表 47. 高校生の性関係と関連する因子 (男子)

		人数	性経験者		粗オッズ比	95%CI	P値
			人数	%			
全体		4338	896	20.7			
学年	1年生	1543	187	12.1	1.00		
	2年生	1432	290	20.3	1.84	1.51-2.25	0.000
	3年生	1363	419	30.7	3.22	2.66-3.90	0.000
家族との日常会話頻度	よく/わりとする	3060	640	20.9	1.00		
	たまにする	999	183	18.3	0.85	0.71-1.02	0.077
	ほとんど/全くなし	271	68	25.1	1.27	0.95-1.69	0.108
泣きたいほどつらい気持ち	一度もない	735	111	15.1	1.00		
	たまに/ときどきある	2821	580	20.6	1.46	1.17-1.82	0.001
	よくある	755	194	25.7	1.94	1.50-2.52	0.000
携帯電話所持	なし	407	22	5.4	1.00		
	あり	3928	873	22.2	5.00	3.23-7.74	0.000
喫煙経験	なし	2759	316	11.5	1.00		
	以前有り、現在なし	934	251	26.9	2.84	2.34-3.42	0.000
	たまに吸う	226	88	38.9	4.93	3.68-6.60	0.000
	よく吸う (毎日)	401	238	59.4	11.29	8.96-14.22	0.000
飲酒経験	なし	975	63	6.5	1.00		
	以前あり、現在なし	1348	188	13.9	2.35	1.74-3.16	0.000
	たまに飲む	1769	521	29.5	6.04	4.59-7.96	0.000
	よく飲む (毎週)	233	122	52.4	15.91	11.08-22.86	0.000
出会い系サイト利用	なし	4119	774	18.8	1.00		
	あり	218	122	56.0	5.49	4.16-7.26	0.000
小学生での性情報曝露	なし	2176	278	12.8	1.00		
	あり	2162	618	28.6	2.73	2.34-3.20	0.000
自分の STD 感染リスク認知	あり	4077	818	20.1	1.00		
	まったくなし	238	72	30.3	1.73	1.05-1.25	0.000

表 48. 高校生の性関係と関連する因子 (女子)

		人数	性経験者	%	crudeOR	95%CI	P値
全体		4887	1376	28.2			
学年	1年生	1670	260	15.6	1.00		
	2年生	1709	506	29.6	2.28	1.93-2.70	0.000
	3年生	1508	610	40.5	3.68	3.12-4.36	0.000
家族との日常会話頻度	よく/わりとする	4224	1115	26.4	1.00		
	たまにする	519	192	37.0	1.64	1.35-1.98	0.000
	ほとんど/全くなし	140	65	46.4	2.42	1.72-3.39	0.000
泣きたいほどつらい気持ち	一度もない	195	22	11.3	1.00		
	たまに/ときどきある	3119	751	24.1	2.49	1.59-3.92	0.000
	よくある	1561	601	38.5	4.92	3.12-7.76	0.000
携帯電話所持	なし	190	19	10.0	1.00		
	あり	4695	1356	28.9	3.66	2.27-5.90	0.000
喫煙経験	なし	3706	706	19.1	1.00		
	以前有り、現在なし	766	378	49.3	4.14	3.52-4.88	0.000
	たまに吸う	195	121	62.1	6.95	5.14-9.39	0.000
	よく吸う(毎日)	201	164	81.6	18.84	13.06-27.16	0.000
飲酒経験	なし	1087	100	9.2	1.00		
	以前あり、現在なし	1553	306	19.7	2.42	1.90-3.08	0.000
	たまに飲む	2092	874	41.8	7.08	5.67-8.85	0.000
	よく飲む(毎週)	137	93	67.9	20.86	13.80-31.54	0.000
出会い系サイト利用	なし	4455	1099	24.7	1.00		
	あり	435	278	63.9	5.41	4.40-6.65	0.000
小学生での性情報曝露	なし	3168	717	22.6	1.00		
	あり	1722	660	38.3	2.12	1.87-2.41	0.000
自分のSTD感染リスク認知	あり	4077	818	20.1	1.00		
	まったくなし	238	72	30.3	1.73	1.30-2.30	0.000

(4) 性経験に関連する要因の多変量解析 (表 49, 表 50)

表 47,48 の項目を用いて、多重ロジスティック回帰分析を行なった結果を表 49、表 50 に示した。学年も調整変数として投入したが、表からは省いた。男性では、携帯電話の所持、喫煙経験、飲酒経験、出会い系サイトの利用経験が強い関連 (調整オッズ比 ≥ 2) を示し、そのうち喫煙経験は特に強い関連 (調整オッズ比=5.3) を示した。その他、泣きたいほどつらい気持ちの経験があること、小学生で性情報曝露のあることで、STD 感染リスク認知が全くないことも有意に関連したが、家族との日常会話は有意にならなかった。女子では、泣きたいほどつらい気持ちの経験があること、携帯電話の所持、喫煙経験、飲酒経験、出会い系サイトの利用経験、STD 感染リスク認知が強い関連 (調整オッズ比 ≥ 2) を示し、そのうち、喫煙経験は特に強い関連 (調整オッズ比=7.7) を示した。その他、家族との日常会話が少ないこと・ないこと、小学生で性情報曝露のあることも有意な関連を示した。全体に、オッズ比は 2 変量解析の場合よりも低下したが、特に、喫煙、飲酒、出会い系サイトの項目の低下が大きかった。

表 49. 高校生の性関係と関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (男子)

変数		調整オッズ比	95%CI	P値
家族との日常会話頻度	よく/わりとする	1.00		
	たまにする	0.84	0.69-1.04	0.115
	ほとんど/まったくなし	0.96	0.68-1.35	0.804
泣きたいほどつらい気持ち	一度もなし	1.00		
	たまに/時々ある	1.41	1.10-1.81	0.007
	よくある	1.52	1.13-2.04	0.005
携帯電話所持	なし	1.00		
	あり	3.66	2.27-5.91	0.000
喫煙経験	なし	1.00		
	以前有り、現在なし	2.12	1.73-2.60	0.000
	たまに吸う	2.92	2.11-4.03	0.000
	よく吸う (毎日)	5.25	4.02-6.86	0.000
飲酒経験	なし	1.00		
	以前あり、現在なし	1.59	1.16-2.19	0.004
	たまに飲む	2.45	1.80-3.33	0.000
	よく飲む (毎週)	3.57	2.33-5.45	0.000
出会い系サイト利用	経験なし	1.00		
	あり	2.13	1.54-2.94	0.000
小学生での性情報曝露	なし	1.00		
	あり	1.58	1.32-1.89	0.000
自分の STD 感染リスク認知	リスク認知あり	1.00		
	まったくなし	1.55	1.11-2.17	0.011

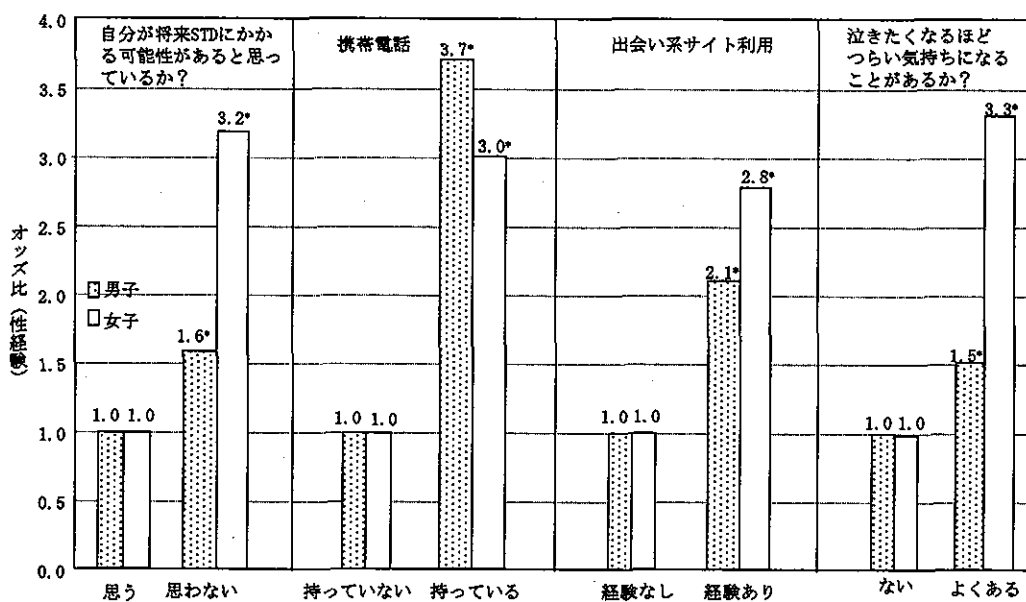
* 学年で調整

表 50. 高校生の性関係と関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (女子)

変数		adjusted OR	95%CI	P値
家族との日常会話頻度	よく/わりとする	1.00		
	たまにする	1.42	1.13-1.78	0.002
	ほとんど/まったくなし	1.74	1.16-2.63	0.008
泣きたいほどつらい気持ち	一度もなし	1.00		
	たまに/時々ある	2.12	1.29-3.48	0.003
	よくある	3.33	2.02-5.49	0.000
携帯電話所持	なし	1.00		
	あり	2.97	1.71-5.15	0.000
喫煙経験	なし	1.00		
	以前有り、現在なし	2.72	2.26-3.28	0.000
	たまに吸う	3.64	2.60-5.09	0.000
	よく吸う (毎日)	7.67	5.12-11.49	0.000
飲酒経験	なし	1.00		
	以前あり、現在なし	1.75	1.36-2.26	0.004
	たまに飲む	3.41	2.68-4.36	0.000
	よく飲む (毎週)	4.26	2.63-6.91	0.000
出会い系サイト利用	経験なし	1.00		
	あり	2.76	2.17-3.51	0.000
小学生での性情報曝露	なし	1.00		
	あり	1.21	1.04-1.41	0.016
自分のSTD感染リスク認知	リスク認知あり	1.00		
	まったくなし	3.16	2.21-4.55	0.000

* 学年で調整

性経験との関連要因



(多重ロジスティック回帰分析, 学年, 喫煙経験, 飲酒経験で補正, * P<0.01)

(5) コンドーム不使用に関連する要因の2変量解析 (表 51、表 52)

表 51 に高校生男子の性経験者のコンドーム不使用 (過去 3 ヶ月に一度も使用せず) に関連する要因を示した。強い関連を示した要因 (粗オッズ比 ≥ 2) は、友人のサポートが少ないこと、泣きたいほどつらい気持ちの経験があること、薬物使用経験、小学生でインターネットのアダルトサイトを見た経験、初交が小学校であることで、その中で、友人のサポートが少ないこと、泣きたいほどつらい気持ちの経験があることが特に強い関連 (粗オッズ比=5.9) を示し、初交が小学校であることは特に強い関連を示した (粗オッズ比=11.2)。その他、小学校でエッチ漫画を見たことも有意の関連を示したが、学年と累積パートナー数は有意の関連を示さなかった。表 52 に高校生女子の性経験者のコンドーム使用に関連する要因を示した。強い関連を示した要因 (粗オッズ比 ≥ 2) は、友人のサポートが少ないこと、小学生でインターネットのアダルトサイトを見た経験、初交が小学校であることで、その中で、初交が小学校であることは特に強い関連を示した (粗オッズ比=7.8)。男子と異なり、女子では累積パートナー数が有意に関連したが、学年、泣きたいほどつらい気持ちの経験があること、薬物使用経験、小学校でエッチ漫画を見たことは、有意の関連を示さなかった。

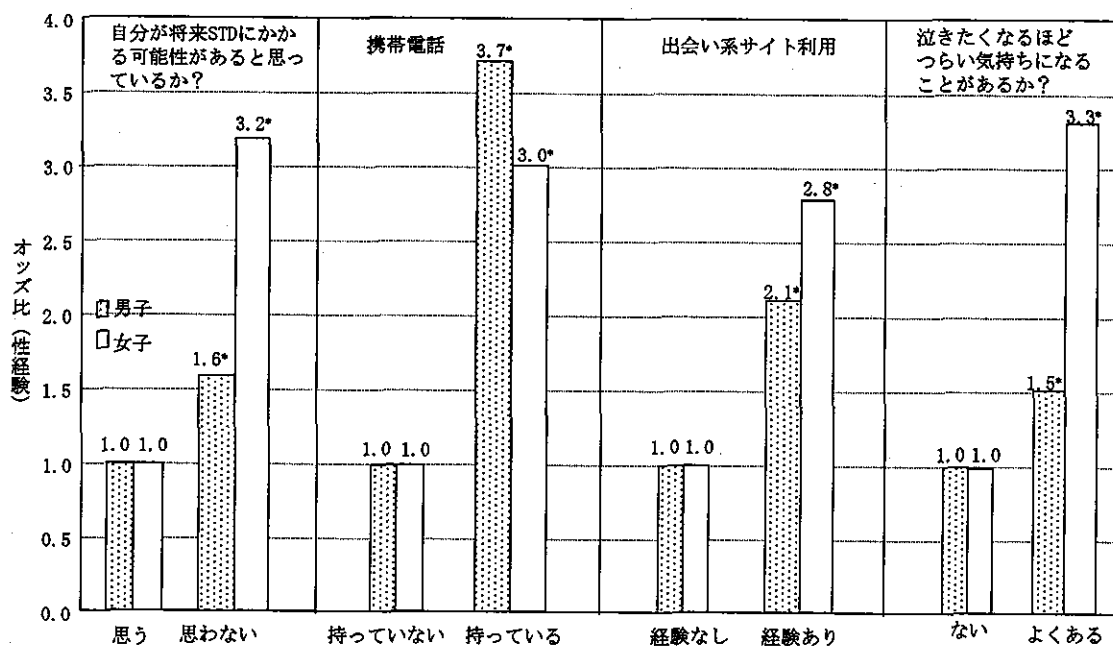
表 51. 高校生のリスク行動(コンドーム不使用)と関連する因子(男子)

		人 数	不使用者 数	%	粗オ ズ比	95%CI	P値
全体		848	79	9.3			
学年	1年生	175	23	13.1	1.00		
	2年生	282	25	8.9	0.64	0.35-1.17	0.149
	3年生	391	31	7.9	0.57	0.32-1.01	0.053
友人のサポート	十分	541	27	5.0	1.00		
	中程度	255	36	14.1	3.13	1.85-5.28	0.000
	不足	46	14	30.4	8.33	3.98-17.42	0.000
泣きたいほどつらい気持ち	一度もない	107	4	3.7	1.00		
	たまに/ときどきある	543	39	7.2	1.99	0.70-5.70	0.198
	よくある	189	32	16.9	5.25	1.80-15.28	0.002
薬物使用経験 (スモーク/シガー)	なし	818	71	8.7	1.00		
	あり	30	8	26.7	3.83	1.64-8.91	0.004
小学生でエッチマンガ	見なかった	383	27	7.0	1.00		
	見た	465	52	11.2	1.66	1.02-2.70	0.044
小学生でアダルトサイト	見なかった	793	69	8.7	1.00		
	見た	55	10	18.2	2.33	1.13-4.83	0.029
初交時期	高校生	493	37	7.5	1.00		
	中学生	328	32	9.8	1.33	0.81-2.19	0.256
	小学生	21	10	47.6	11.20	4.47-28.10	0.000
累積パートナー数	1人	439	44	10.0	1.00		
	2-6人	347	24	6.9	0.67	0.40-1.12	0.126
	7人以上	62	11	17.7	1.94	0.94-3.99	0.073

表 52. 高校生のリスク行動(コンドーム不使用)と関連する因子(女子)

		人数	不使用者数	%	粗オッズ比	95%CI	P値
全体		1310	138	10.5			
学年	1年生	248	37	14.9	1.00		
	2年生	483	52	10.8	0.69	0.44-1.08	0.105
	3年生	579	49	8.5	0.53	0.33-0.83	0.006
友人のサポート	十分	992	94	9.5	1.00		
	中程度	272	34	12.5	1.37	0.90-2.07	0.144
	不足	44	10	22.7	2.81	1.35-5.87	0.006
泣きたいほどつらい気持ち	一度もない	21	3	14.3	1.00		
	たまに/ときどきある	711	72	10.1	0.68	0.19-2.35	0.538
	よくある	576	63	10.9	0.74	0.21-2.57	0.632
薬物使用経験(スピード/シガー)	なし	1296	134	10.3	1.00		
	あり	15	4	26.7	3.15	0.99-10.04	0.064
小学生でエッチマンガ	見なかった	823	88	10.7	1.00		
	見た	488	50	10.2	0.95	0.66-1.38	0.853
小学生でアダルトサイト	見なかった	1283	131	10.2	1.00		
	見た	28	7	25.0	2.93	1.22-7.03	0.022
初交時期	高校生	851	77	9.0	1.00		
	中学生	427	50	11.7	1.33	0.92-1.94	0.135
	小学生	16	7	43.8	7.82	2.83-21.57	0.000
累積パートナー数	1人	615	55	8.9	1.00		
	2-6人	593	67	11.3	1.30	0.89-1.89	0.175
	7人以上	103	16	15.5	1.87	1.03-3.42	0.041

性経験との関連要因



(多重ロジスティック回帰分析, 学年, 喫煙経験, 飲酒経験で補正, * P<0.01)

(6) コンドーム不使用に関連する要因の多変量解析 (表 53, 表 54)

表 51、表 52 の項目を用いて、多重ロジスティック回帰分析を行なった結果を表 53、表 54 に示した。学年も調整変数として投入したが、表からは省いた。男子では、友人との繋がり (サポート)、初交が小学生であることが強い関連 (調整オッズ比=6.10)、薬物使用がボーダーラインの有意性を示し、小学生で性情報曝露があること (漫画、アダルトサイト)、累積相手数は、有意の関連を示さなかった。女子では、初交が小学生であることが強い関連 (調整オッズ比=5.2)、友人との繋がり (サポート) が有意の関連を示した以外は、有意に関連する項目はなかった。

表 53. 高校生のコンドーム不使用に関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (男子)

変数		調整オッズ比	95%CI	P値
友人との繋がり	十分	1.00		
	中くらい	3.17	1.81-5.57	0.000
	希薄	6.03	2.55-14.23	0.000
泣きたいほどつらい気持ち	一度もない	1.00		
	たまに/時々ある	2.31	0.76-6.99	0.138
	よくある	4.68	1.52-47.43	0.007
薬物使用 (シガー/ステート)	経験なし	1.00		
	経験有り	3.44	0.99-12.00	0.053
小学生の性情報曝露	なし	1.00		
	エッチマンガ	1.43	0.82-2.48	0.207
	アダルトサイト	1.44	0.56-3.70	0.452
初交時期	高校生	1.00		
	中学生	1.61	0.88-2.96	0.123
	小学生	9.25	2.30-37.27	0.002
累積相手数	1人	1.00		
	2-6人	0.54	0.30-0.99	0.048
	7人以上	0.58	0.19-1.78	0.340

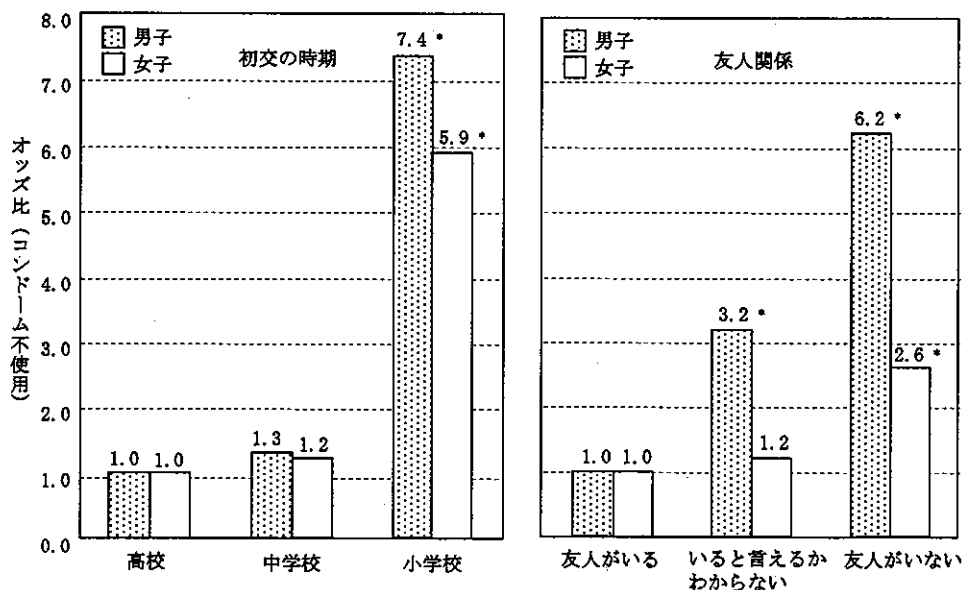
* 学年で調整

表 54. 高校生のコンドーム不使用に関連する要因 (多重ロジスティック回帰分析) (女子)

変数		調整オッズ比	95%CI	P値
友人との繋がり	十分	1.00		
	中くらい	1.21	0.78-1.87	0.401
	希薄	2.62	1.16-5.93	0.021
泣きたいほどつらい気持ち	一度もない	1.00		
	たまに/時々ある	1.04	0.26-4.13	0.961
	よくある	1.04	0.26-4.15	0.951
薬物使用 (シガー/スピート)	経験なし	1.00		
	経験有り	1.15	0.25-5.33	0.860
小学生の性情報曝露	なし	1.00		
	エッチマンガ*	0.72	0.48-1.09	0.118
	アダルトサイト	1.67	0.58-4.85	0.345
初交時期	高校生	1.00		
	中学生	1.00	0.64-1.57	0.995
	小学生	5.21	1.71-15.85	0.004
累積相手数	1人	1.00		
	2-6人	1.41	0.93-2.15	0.107
	7人以上	1.78	0.87-3.61	0.112

* 学年で補正

コンドーム不使用との関連要因



(多重ロジスティック回帰分析, 学年、精神状態、性情報曝露、薬物使用で補正、* $P < 0.01$)

全国高校生の性意識/性行動調査結果のまとめ (2004年)

(社団法人) 全国高等学校 PTA 連合会との共同研究

1. 高校生の日常生活

家族との日常会話：「家族とよく話をする」生徒は、3～5割で女子の方が多く、会話の相手は①母親、②兄弟姉妹、③父親の順であった。

携帯電話所持率：全学年男女とも9割を超える。昨年度に比べ顕著な増加。

喫煙、飲酒、薬物使用率：毎日喫煙者の割合は、高2-3男子で1割前後に達していた。また、毎週飲酒者の割合は、すべて1割以下であったが、喫煙飲酒ともに学年とともに上昇していた。薬物（大麻、スピード、シンナー）の使用経験率は高3男子で1%を超えた以外はすべての学年・性別で1%以下であった。男女では、喫煙、飲酒、薬物ともに男子が高率。

出会い系サイト、援助交際：「出会い系サイト」利用者は、高3女子で1割を超える。「援助交際」は女子で1～2%。男女では、「出会い系サイト・援助交際」ともに女子が高率。

精神的不安定状態：「よくある」生徒の割合。全般的に女子の方が不安定な状態。

- ①「泣きたくなるほどつらい気持ちになる」：男子2割、女子3割
- ②「我慢できないほど腹が立つ」：男女とも2～3割
- ③「悲しい時でも笑顔を見せる」：男子3割、女子4割

2. 高校生の知識/意識

性情報への曝露：

- ①性描写のある漫画：小学生で男子4割、女子3割。中学生では男子7割、女子5割。
- ②アダルトサイト：中1男子が最高で40%の利用率。新たな性情報源として要注意。

STD/HIV 関連知識：エイズの基礎知識、STD/HIV/中絶の全国の疫学情報は8割が正解。しかし、一般の性感染症や地元の中絶率の動向など身近な情報が不足。

リスク認知：将来、一般の性感染症に自分が感染する可能性があると思っている生徒は半数以下、HIVでは3割前後、感染へのリスクが自分のこととして捉えられていない。

性関係の容認度：

- ①一般論としての高校生の性関係：男女とも75%が容認。
- ②自分の交際として高校生の性関係：4～6割が容認。（上記一般論より低率）
- ③自分の交際：「一緒に話をする」～「キスをする」までが同程度に捉えられ8割が容認。

性関係までの期間：交際開始から性関係までの理想的な期間。ピークは「3ヶ月」。「結婚まで待つ」は1割未満。

初交後の気持ち：「経験してよかったかどうかどちらとも言えない」「後悔した」が男子4割、女子では6割に達する。

3. 高校生の性行動

性経験率：高1で1～2割、高2で2～3割、高3で3～4割。全学年とも女子が高率。

交際相手：男子の7～9割は高校生が相手。一方、高3女子では3割以上が年上（社会人、大学生等）と交際。大人社会の性的ネットワークとの bridge population。

相手総数：これまでの相手の累積数が1人は、高1男子以外は半数以下。高3男女では4人以上が2割を超える。

コンドーム使用率：性経験者のうち、過去3ヶ月間の「毎回使用者」は4～5割弱。「一度も使用なし」が各学年約1割存在。

高校生の性意識、性経験、コンドーム使用に関連する要因(まとめ)

1. 高校生の性行為容認意識と関連する要因(多重ロジスティック回帰分析)

男子①携帯電話の所持 (オッズ比「OR」>2)

- ②喫煙 (OR>2)
- ③飲酒 (OR>2)
- ④小学生での性情報曝露 (OR>2)
- ⑤泣きたいほどつらい気持ちの経験
- ⑥STD リスク認知が全くないこと

女子①携帯電話所持 (OR>2)

- ②喫煙 (OR>2)
- ③飲酒 (OR>2)
- ④家族との日常会話が少ないこと、ないこと
- ⑤出会い系サイトの利用
- ⑥小学生での性情報曝露
- ⑦STD 感染リスク認知が全くないこと

2. 高校生の性経験と関連する要因(多変量解析)

男子①携帯電話の所持 (OR>2)

- ②喫煙 (OR=5.3)
- ③飲酒 (OR>2)
- ④出会い系サイトの利用 (OR>2)
- ⑤泣きたいほどつらい気持ちの経験
- ⑥小学生での性情報曝露
- ⑦STD 感染のリスク認知が全くないこと

女子①泣きたいほどつらい気持ちの経験 (OR>2)

- ②携帯電話所持 (OR>2)
- ③喫煙 (OR=7.7)
- ④飲酒 (OR>2)
- ⑤出会い系サイト利用 (OR>2)
- ⑥STD 感染リスク認知が全くないこと (OR>2)
- ⑦家族との日常会話が少ないこと、ないこと
- ⑧小学生での性情報曝露

3. コンドーム不使用に関連する要因(多変量解析)

男子①友人との繋がり (サポート) (OR=6.0)

- ②初交が小学生であること (OR=9.3)
- ③薬物使用

女子①初交が小学生であること (OR=5.2)

- ②友人との繋がり (サポート) (OR>2)

2-② G県高校生の生活・意識調査

【 調査目的 】

G 県の高校生の HIV/STD に関連する知識、性に対する意識・態度、性行動に関する現状を把握する。

【 調査者 】

(主体) 厚生労働省 HIV 社会疫学研究班若者予防グループ

(協力) G 県高等学校生徒指導研究会

*経緯

- ① 2003 年：G 県高等学校 PTA 連合会主催、エイズ講演会の開催。保護者・学校関係者の間で子どもたちの性の実態把握のための調査の必要性が検討される。
- ② 2004 年 8 月：G 県高等学校生徒指導研究会より、本グループに調査依頼。
- ③ 2004 年 9 月：G 県校長会における調査内容の説明および承認。

【 対象と方法 】

(1) 調査実施時期：2004 年 10 月

(2) 対象：G 県内全高等学校の生徒（公立/私立、全日制/定時制）（全学年）

(3) 調査方法

サンプリング方法：悉皆調査

実施方法

無記名自記式質問紙調査、学校における集合調査。調査は試験と同じ要領で実施（記入中は他の生徒と私語禁止。他の生徒の解答用紙は見ないこと。全員が調査終了するまで席を離れないこと）。調査に先立ち、学校関係者により、調査の重要性の説明。

(4) 質問紙と調査項目

自記式で 10 ページ、回答所要時間は約 15 分間、主質問 37 問、付問を含めて 84 問。質問紙の構成は、①属性、②家族構成、③家庭での会話頻度、④交友関係、⑤日常生活、⑥エイズ/性感染症関連知識、⑦性情報への暴露、⑧交際状況、⑨性行動（経験者のみ）、⑩性意識、⑪エイズ/性感染症リスク認知、⑫コンドーム使用に対する態度、⑬性教育・性情報に対する要望など（資料 11：全国 PTA 連合会調査と同様の質問紙に 4 問追加）。

(5) 調査参加校内訳（参加率）

調査に参加した全学校数は 62 校であった。その内訳は、公立高校（全日制）57 校/75 校（76.0%）、公立高校（定時制）3 校/12 校（25.0%）、私立高校 2 校/16 校（12.5%）であった。

調査に参加した生徒総数は 22,805 人（回収率 98.0%）で、そのうち有効回答者 22,436 人、無効回答者 369 人（性別、学年の記載のないもの、および回答に論理的に矛盾する回答が含まれている場合、個別の調査票を確認し無効とした）であった。参加者の性別学年別内訳は、高校 1 年生 3,322 人（男子 1,595 人、女子 1,727 人）、高校 2 年生 3,254 人（男子 1,476 人、女子 1,778 人）、高校 3 年生 2,991 人（男子 1,411 人、女子 1,580 人）であった。

(6) 統計学的分析

カテゴリー変数の検定にはカイ二乗検定を用い、多変数の交絡の調整には多重ロジステ